

茨城県合同輸血療法委員会活動報告（平成 27 年度）

1. 茨城県合同輸血療法委員会世話人会

4 月、7 月、10 月、2 月の年 4 回開催し、年間の活動計画及び報告を行った。

2. 平成 27 年度厚労省血液製剤使用適正化方策調査研究事業に採択され、「合同輸血療法委員会だより 2 号」の発行、茨城県合同輸血療法委員会研究報告書（冊子）を作成し、県内の医療機関に送付、また報告書については、県内の医療機関、全国の血液センター、各県、県内各市町村に送付した。

3. 廃棄血削減プロジェクト

1) 血液製剤使用実態調査（アンケート）の実施

・平成 26 年度血液製剤供給上位 100 施設にアンケートを含めた血液製剤使用実態調査表を送付し、血液製剤の廃棄量・率等の調査を行った。

（回収率 84.0%）

2) 廃棄量・率情報フィードバックの実施について

・アンケート調査により 27 施設の参加のもと実施し、廃棄量削減に寄与した。

3) 廃棄量の多い医療機関への個別訪問

・廃棄量の多い医療機関を抽出し、1 施設に対して薬務課、委員会世話人会で訪問し、廃棄血削減へのアドバイスを実施した。また、他の廃棄量の多い医療機関には、保健福祉部長、県医師会長、代表世話人名で廃棄血削減に係る依頼文を送付した。

4) 小型搬送冷蔵庫（ATR700-RC05）を用いた血液製剤の取り扱いについて

・東京都血液センター所有の ATR を 1 台借用し、産科医療機関 1 施設を対象に「Blood Rotation」の検証を試みた。その結果、ATR を利用した血液製剤の納品・返却後の再利用については可能であると結論した。

5) 「輸血クリニカルパス」の案内について

・希望のあった 5 医療機関に案内した。

4. 茨城県輸血関連認定看護師養成部会の発足

・認定看護師部会を発足し、医療機関において開催された自己血輸血研修会に講師を派遣した。また、看護師部会を 2 回開催し、その他、茨城県合同輸血療法委員会総会日程に合わせて県内の看護師を対象にした意見交換会を開催した。

5. 医療機関で実施した研修会の共催及び参加

・日立総合病院

- ・茨城県立中央病院

6. 茨城県合同輸血療法委員会総会の開催

- ・茨城県合同輸血療法委員会活動報告：

「茨城県合同輸血療法委員会における5年間の活動を振り返って」

- ・教育講演1：「自己血輸血の推進と看護師の役割」
- ・教育講演2：「iPS細胞等を用いた血液事業新展開の可能性」

平成27年度
茨城県合同輸血療法委員会総会

日時 ◇ 平成28年2月27日(土) 14:00~16:30
場所 ◇ 茨城県メディカルセンター 研修講堂

主催 : 茨城県合同輸血療法委員会
共催 : 茨城県 茨城県赤十字血液センター
後援 : (一社)日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部
(一社)茨城県医師会 (一社)茨城県病院協会
(公社)茨城県看護協会 (一社)茨城県病院薬剤師会
(公社)茨城県臨床検査技師会

プログラム

開会挨拶 14:00~14:15

茨城県合同輸血療法委員会 代表世話人 大越 靖
茨城県保健福祉部長 松岡 輝昌

平成27年度 茨城県合同輸血療法委員会 活動報告 14:15~14:45

座長：茨城県医師会 諸岡 信裕
「茨城県合同輸血療法委員会における5年間の活動を振り返って」
茨城県赤十字血液センター 学術・品質情報課長 谷川 道浩

教育講演1 14:50~15:20

座長：茨城県立こども病院 小池 和俊
「自己血輸血の推進と看護師の役割」
茨城県立中央病院看護局 内藤 真美

教育講演2 15:30~16:30

座長：茨城県立中央病院 大越 靖
「iPS細胞等を用いた血液事業新展開の可能性」
日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所 主査 栗田 良

閉会挨拶 16:30~

茨城県赤十字血液センター 佐藤 純一